



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場会社名 株式会社 紀陽ホールディングス

上場取引所 東

コード番号 8415 URL <http://www.kyfg.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 片山 博臣

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役グループ企画部長 (氏名) 米坂 享

TEL 073-426-7133

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	21,310	△5.6	5,023	6.3	3,207	△11.0
24年3月期第1四半期	22,569	△3.2	4,725	19.8	3,603	116.0

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 4,936百万円 (△52.4%) 24年3月期第1四半期 10,362百万円 (16.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	4.35	3.16
24年3月期第1四半期	4.92	3.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,894,311	185,300	4.7
24年3月期	3,854,842	183,034	4.7

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 183,037百万円 24年3月期 180,785百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当状況を記載しております。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	40,300	△9.1	6,400	△17.7	3,800	△32.5	5.15
通期	80,600	△4.4	12,900	△12.0	7,700	1.3	9.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	745,017,053 株	24年3月期	745,017,053 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	6,750,709 株	24年3月期	7,132,952 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	738,133,852 株	24年3月期1Q	732,222,675 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(種類株式の配当の状況)

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

第4回第一種優先株式	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0 00	—	11 00	11 00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		0 00	—	11 00	11 00

(注)第4回第一種優先株式は、市場金利に連動し配当額が決定されます。

【添付資料】

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

※平成25年3月期 第1四半期決算説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期の連結経営成績につきましては、資金運用収益や貸倒引当金戻入益が減少したことなどにより、経常収益は、前年同期比 12億59百万円減少の 213億10百万円となりました。

経常費用につきましては、資金調達費用、経費及び株式等償却が減少したことなどにより、前年同期比 15億56百万円減少の 162億87百万円となりました。

以上の結果、連結経常利益は、前年同期比 2億98百万円増加の 50億23百万円、連結四半期純利益につきましては、前年同期比 3億96百万円減少の 32億7百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期末における連結財政状態につきましては、総資産が 3兆8,943億円、純資産が 1,853億円となりました。

貸出金につきましては、公共貸出の減少などから、前連結会計年度末比 586億円減少の 2兆4,805億円となりました。

預金・譲渡性預金につきましては、個人預金や法人預金を中心に増加し、前連結会計年度末比 428億円増加の 3兆5,388億円となりました。

また、有価証券につきましては、前連結会計年度末比 251億円減少の 1兆439億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表しました連結業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第 1 四半期連結会計期間より、平成 24 年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第 1 四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
現金預け金	84,887	57,860
コールローン及び買入手形	61,239	220,578
買入金銭債権	2,830	2,849
商品有価証券	2,010	1,787
有価証券	1,069,148	1,043,969
貸出金	2,539,253	2,480,570
外国為替	1,865	1,716
その他資産	43,589	37,220
有形固定資産	33,539	33,502
無形固定資産	13,459	12,662
繰延税金資産	17,053	14,388
支払承諾見返	15,389	14,732
貸倒引当金	△29,424	△27,528
資産の部合計	3,854,842	3,894,311
負債の部		
預金	3,440,024	3,502,470
譲渡性預金	55,988	36,383
債券貸借取引受入担保金	84,206	80,538
借入金	30,100	25,072
外国為替	14	26
社債	13,000	13,000
その他負債	31,994	35,787
退職給付引当金	29	29
役員退職慰労引当金	32	32
睡眠預金払戻損失引当金	700	615
偶発損失引当金	327	321
支払承諾	15,389	14,732
負債の部合計	3,671,808	3,709,011
純資産の部		
資本金	58,350	58,350
資本剰余金	64,605	64,603
利益剰余金	45,748	46,247
自己株式	△847	△802
株主資本合計	167,856	168,398
その他有価証券評価差額金	12,802	14,386
繰延ヘッジ損益	125	252
その他の包括利益累計額合計	12,928	14,639
少数株主持分	2,249	2,262
純資産の部合計	183,034	185,300
負債及び純資産の部合計	3,854,842	3,894,311

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
経常収益	22,569	21,310
資金運用収益	14,595	14,025
(うち貸出金利息)	11,384	10,960
(うち有価証券利息配当金)	3,129	2,966
役務取引等収益	2,843	2,852
その他業務収益	1,642	2,138
その他経常収益	3,488	2,294
経常費用	17,843	16,287
資金調達費用	1,897	1,506
(うち預金利息)	1,554	1,192
役務取引等費用	974	999
その他業務費用	1,607	1,476
営業経費	10,962	10,690
その他経常費用	2,401	1,614
経常利益	4,725	5,023
特別利益	1,476	1
固定資産処分益	—	1
退職給付制度改定益	1,476	—
特別損失	2	7
固定資産処分損	2	7
税金等調整前四半期純利益	6,199	5,018
法人税、住民税及び事業税	147	196
法人税等調整額	2,447	1,595
法人税等合計	2,595	1,791
少数株主損益調整前四半期純利益	3,604	3,226
少数株主利益	0	19
四半期純利益	3,603	3,207

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,604	3,226
その他の包括利益	6,758	1,710
その他有価証券評価差額金	6,779	1,583
繰延ヘッジ損益	△21	126
四半期包括利益	10,362	4,936
親会社株主に係る四半期包括利益	10,361	4,918
少数株主に係る四半期包括利益	1	18

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はございません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はございません。

平成25年3月期 第1四半期
決算説明資料

株式会社 紀陽ホールディングス

【 目 次 】

1. 損益の状況	
(1) 紀陽ホールディングス連結	1
(2) 紀陽銀行単体	2
2. 預金、貸出金の残高【紀陽銀行単体】	3
3. 預かり資産（投資信託・公共債・個人年金保険等）残高【紀陽銀行単体】	3
4. 自己資本比率【紀陽ホールディングス連結】【紀陽銀行単体】	3
5. 時価のある有価証券の評価差額【紀陽銀行単体】	4
6. 金融再生法ベースのカテゴリによる開示【紀陽銀行単体】	4

※記載金額、比率は単位未満を切り捨てて表示しております。

1. 損益の状況

(1) 紀陽ホールディングス連結

(単位：百万円)

	平成25年3月期 第1四半期 (a)	平成24年3月期 第1四半期 (b)	比較 (a - b)	平成25年3月期 業績予想値
連 結 粗 利 益	15,034	14,601	433	
資 金 利 益	12,518	12,698	△ 180	
役 務 取 引 等 利 益	1,853	1,868	△ 15	
そ の 他 業 務 利 益 (うち債券関係損益)	662 (411)	34 (△ 178)	628 (589)	
営 業 経 費 (△)	10,690	10,962	△ 272	
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 (△)	—	—	—	
株 式 等 関 係 損 益	△ 889	△ 1,631	742	
不 良 債 権 処 理 額 (△)	640	692	△ 52	
うち貸出金償却 (△)	554	572	△ 18	
うち個別貸倒引当金繰入額 (△)	—	—	—	
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	1,398	2,589	△ 1,191	
償 却 債 権 取 立 益	489	474	15	
経 常 利 益	5,023	4,725	298	6,400 (第2四半期累計期間) 12,900 (通期)
特 別 損 益	△ 5	1,474	△ 1,479	
うち退職給付制度改定益	—	1,476	△ 1,476	
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	5,018	6,199	△ 1,181	
法 人 税 等 合 計 (△)	1,791	2,595	△ 804	
法人税、住民税及び事業税 (△)	169	147	22	
法人税等調整額 (△)	1,595	2,447	△ 852	
少 数 株 主 損 益 調 整 前 四 半 期 純 利 益	3,226	3,604	△ 378	
少 数 株 主 利 益	19	0	19	
四 半 期 (中 間 ・ 当 期) 純 利 益	3,207	3,603	△ 396	3,800 (第2四半期累計期間) 7,700 (通期)
与 信 コ ス ト 総 額 (△)	△ 1,301	△ 2,366	1,065	

- (注) 1. 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役員取引等収益 - 役員取引等費用)
+ (その他業務収益 - その他業務費用)
2. 与信コスト総額は、与信費用 (一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理額) に貸倒引当金戻入益
や償却債権取立益などの与信関連損益を加味して算出しております。
3. (△) は損失項目です。

当第1四半期の紀陽ホールディングス連結経営成績は、資金利益や役員取引等利益が前年同期比で減少したものの、有価証券関係損益が改善したことなどにより、経常利益が前年同期比2億円増加の50億円、四半期純利益が前年同期比3億円減少の32億円となりました。

(2) 紀陽銀行単体

(単位：百万円)

	平成25年3月期 第1四半期 (a)	平成24年3月期 第1四半期 (b)	比較 (a - b)	平成25年3月期 業績予想値
業 務 粗 利 益	14,121	13,732	389	
資 金 利 益	12,495	12,666	△ 171	
役 務 取 引 等 利 益	1,107	1,151	△ 44	
そ の 他 業 務 利 益 (うち債券関係損益)	517 (411)	△ 85 (△ 178)	602 (589)	
経費(除く臨時処理分)(△)	9,986	10,147	△ 161	
一般貸倒引当金繰入額(△)	—	—	—	
業 務 純 益	4,134	3,584	550	
うちコア業務純益	3,722	3,763	△ 41	
臨 時 損 益	874	1,101	△ 227	
株 式 等 関 係 損 益	△ 889	△ 1,631	742	
うち株式等償却(△)	889	1,397	△ 508	
不 良 債 権 処 理 額 (△)	363	437	△ 74	
うち貸出金償却(△)	278	316	△ 38	
うち個別貸倒引当金繰入額(△)	—	—	—	
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	1,297	2,407	△ 1,110	
償 却 債 権 取 立 益	272	307	△ 35	
そ の 他	558	454	104	
経 常 利 益	5,008	4,686	322	7,100(第2四半期累計期間) 13,700(通期)
特 別 損 益	△ 5	1,474	△ 1,479	
うち退職給付制度改定益	—	1,476	△ 1,476	
税引前四半期純利益	5,003	6,160	△ 1,157	
法人税等合計(△)	1,570	2,488	△ 918	
法人税、住民税及び事業税(△)	17	16	1	
法人税等調整額(△)	1,553	2,472	△ 919	
四半期(中間・当期)純利益	3,432	3,671	△ 239	4,700(第2四半期累計期間) 9,100(通期)
与信コスト総額(△)	△ 1,260	△ 2,273	1,013	

- (注) 1. コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、債券関係損益控除後の業務純益です。
 2. 与信コスト総額は、与信費用(一般貸倒引当金繰入額+不良債権処理額)に貸倒引当金戻入益や償却債権取立益などの与信関連損益を加味して算出しております。
 3. (△)は損失項目です。

当第1四半期の紀陽銀行単体ベースの経営成績は、資金利益や役務取引等利益が伸び悩んだものの、経費の削減に努めたことなどから、コア業務純益は37億円と前年同期比ほぼ横這いとなりました。経常利益については、貸倒引当金戻入益が減少となる中、有価証券関係損益が改善したことなどにより、前年同期比3億円増加の50億円となりました。また、四半期純利益については、前期に計上していた特別利益(退職給付制度改定益)がなくなる一方、法人税等調整額が減少したことなどにより、前年同期比2億円減少の34億円となりました。

2. 預金、貸出金の残高

(紀陽銀行単体)

	(単位：億円)			(参考) (単位：億円)
	平成24年6月末	平成23年6月末	前年同期比	平成24年3月末
預金・譲渡性預金(末残)	35,584	35,074	510	35,155
うち預金	35,150	34,274	876	34,470
うち個人預金	26,786	26,380	406	26,433
貸出金(末残)	24,874	24,531	343	25,462
うち消費者ローン	8,971	8,856	115	8,988
うち住宅ローン	7,696	7,564	132	7,699

3. 預かり資産(投資信託・公共債・個人年金保険等)残高

(紀陽銀行単体)

	(単位：億円)			(参考) (単位：億円)
	平成24年6月末	平成23年6月末	前年同期比	平成24年3月末
投資信託残高	1,459	1,579	△ 120	1,538
公共債残高	482	587	△ 105	500
投資信託・公共債合計残高	1,941	2,167	△ 226	2,039
個人年金保険等	2,601	2,252	349	2,527

(注) 個人年金保険等は、販売累計額を記載しております。

4. 自己資本比率

(紀陽ホールディングス連結、第二基準)

	(単位：億円)		(単位：億円)
	平成24年6月末(A)	平成24年3月末(B)	比較(A)-(B)
自己資本比率	11.92%	11.63%	0.29%
Tier 1比率	9.35%	9.00%	0.35%
自己資本額	2,099	2,078	21
うちTier 1	1,646	1,608	38
リスクアセット等	17,599	17,861	△ 262
総所要自己資本額	703	714	△ 11

(紀陽銀行単体、国内基準)

	(単位：億円)		(単位：億円)
	平成24年6月末(A)	平成24年3月末(B)	比較(A)-(B)
自己資本比率	11.18%	10.90%	0.28%
Tier 1比率	8.69%	8.36%	0.33%
自己資本額	1,956	1,937	19
うちTier 1	1,520	1,486	34
リスクアセット等	17,495	17,766	△ 271
総所要自己資本額	699	710	△ 11

5. 時価のある有価証券の評価差額

(紀陽銀行単体)

(単位：億円)

	平成24年6月末			平成24年3月末		
	評価差額			評価差額		
		うち益	うち損		うち益	うち損
満期保有目的(注3)	6	13	7	2	11	8
その他有価証券	213	311	97	187	270	82
株式	△ 10	28	39	11	35	23
債券	158	159	0	122	123	0
その他	16	73	57	2	60	57
(注4)	49	49	—	51	51	—
総合計	219	324	104	190	281	90

(注1) 有価証券のほか、買入金銭債権中の信託受益権も含めております。

(注2) 時価のある子会社・関連会社株式はございません。

(注3) 満期保有目的として保有する変動利付国債の一部については、合理的に算定された価額により評価しております。

(注4) 変動利付国債の保有目的区分変更(「その他有価証券」から「満期保有目的」へ)により発生した評価差額を記載しております。

6. 金融再生法ベースの категорияによる開示

(紀陽銀行単体)

(単位：億円)

	平成24年6月末	平成24年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	218	227
危険債権	624	625
要管理債権	76	70
小計	919	923
(合計債権残高に占める比率)	(3.64%)	(3.58%)
正常債権	24,279	24,865
合計	25,199	25,789

以 上